



愛ある宕

あいあるところ

令和6年5月29日(水)号

つながる姿

5月25日(土)、雲一つない爽やかな五月晴れ、スローガン「全員の心を一つに！えがおとゆう気の チーム愛宕」のもと、学区共催「ふれあい大運動会」を開催しました。早朝から学区社会教育委員・PTAの皆様とともに準備を整えました。

運動会が始まると、子どもたち、来場いただいた来賓・保護者・学区の皆さんの温かい拍手と声援に後押しされるように各競技・演技が進行しました。演技する喜び、競技する楽しさ、応援する充実感、できたときの達成感・・・子どもたちの笑顔と真剣な眼差しには、たくさんの思いが込められていたように感じます。

学区や保護者参加の種目では、出場する方々を応援する子どもたちの声援が飛び交っていました。学校、保護者、学区のつながりが深まった「ふれあい大運動会」でした。多数のご来校、ありがとうございました。心から感謝いたします。



子どもたちは、ゴールデンウィーク明けから運動会練習を始めました。練習期間の前半は、天候不順でなかなか運動場を使用できませんでした。体育館での練習が中心となりましたが、学年演技種目、ラジオ体操、玉入れ、全校リレー等順調に練習を重ねていました。天候に左右されない子どもたちの意識、教員の指導・支援に感心しました。児童会運動委員のお手本もたいへんすばらしいものでした。

また、20日から4日間行われた「草取りボランティア活動」には、早朝から数多くの保護者の方が参加してくださいました。早い方は、出勤前の7時40分頃から草取りを開始されました。ご家族での参加もありました。子どもたちによる草取りも同時に行われ、親子で一緒に取り組む姿も見られました。こうして運動場が舞台になっていきました。

教職員の頑張りも素敵でした。私が出勤すると、その日に行く全校練習の流れや留意点を記載した文書が机の上に置かれていました。早朝からラインカーを引く音が運動場から聞こえ、子どもたちの休憩場所となる簡易テントを広げる音も響いていました。運動場には、さまざまなラインやマーカーが記されていました。また、厳しい日差しの中、校務員さんは、運動場周辺の草刈りや樹木の手入れを行っていました。

子どもたちは、運動会に至るまで支えてくださる人々の姿を見えています。その姿がつながっていることも知っています。今回の学びが将来につながることを願っています。

